

## 生き物つながりたんけん隊 秋季編

### ～宝塚自然の家～

- ◆日時；2019年 10月23日（木） 9：30～14：30
- ◆場所；宝塚自然の家
- ◆目的；・バッタなどの昆虫の生きる姿から生命の不思議を実感する  
・園内のいろいろな生きものを観察し、季節とのつながり確かめる  
・歴史民俗資料館を見学し、昔の農家の暮らしに触れる
- ◆対象；末広小学校3年生 64名（12班）  
担任 栗谷先生、惣津先生、校長先生、付き添いの先生1名
- ◆スタッフ；MNC16名  
石原・村瀬・中尾・平山(元)・多田・永田・花島・齊藤(志)・八尋・  
永井・吉田・木村(俊)・小山・高山(勝)・沼田・高橋(美)

秋季、3回目の「生き物つながり探検隊」は宝塚自然の家で、いろいろな生きもののくらしの観察です。秋晴れの青空のもと、児童たちは元気いっぱいでした。まだ紅葉には早く、木々の葉は緑色の中にちらほら色づいた葉が混じるぐらい。でも、暑さが続いたせいか虫やカエルがたくさんいて、虫捕りを大いに楽しみました。

歴史民俗資料館では、昔の人々の暮らしをしのばせる多くの道具をみましたが、現在の生活とのギャップが大きすぎて、ピンとこなかったかもしれません。でも、茅葺の家も含めて児童たちは興味津々でした。



### スケジュール

9：30 事務所前に集合・はじめのあいさつ 先生・石原

9：35 昔の生活道具のお話 石原

9：55 園内探検に出発 班ごとに行動

1組（1班～6班）

事務所前→ハレーロボ→体験学習室→歴史民俗資料館→事務所前

2組（7班～12班）

事務所前→歴史民俗資料館→体験学習室→ハレーロボ→事務所前

全員

事務所前→アカシア広場→多目的広場

11:15 多目的広場で昆虫・バッタの話 木村(俊)

11:50 児童感想発表とまとめ

12:00 昼食(多目的広場で)

12:40 農園へ出発

武庫ネイチャー会員もイモ掘りに参加

バスは少々遅れて到着。  
あいさつの後、石原さん  
から「昔の生活道具」の  
話を聞きました。



2手に分かれて出発。  
茅葺屋根の家は、だいぶ  
傷んでいますが、とても  
珍しかったようです。

歴史民俗資料館では、  
稲の実をとる道具に人気  
がありました。



天文台(ハレーロボ)の  
下にはアリジゴクの巣が  
いくつも見られました。



秋を感じる花や実もた  
くさんありました。



多目的広場は虫捕りに最適でした。オオカマキリはこの後、赤とんぼを食べてしまいました。



木村さんから「昆虫・バッタ」の話の話を聞きました。羽や足はどこから生えているか、カブトムシの胸は体の半分以上あるなど、楽しく、分かりやすく学びました。



おいしいお弁当の後はバスで移動してお芋ほりです。柔らかい土の中で育ったお芋は、大きくて、赤くてとてもおいしかったです。



### <<<児童の感想から>>>

- ・カエルをつかまえたら、色が茶色から緑色に変わるところだった。
- ・昆虫のことをいろいろ知れて良かった。
- ・コオロギを捕まえた。
- ・オオカマキリを捕まえた。トンボが食べられた。
- ・高いところに上がったとき、きれいな景色がみえてうれしかった。
- ・食べられる実があった。
- ・いろいろな昔の道具を知ってよかった。

### <<<記録者雑感>>>

大型台風による被害や、ラグビーW杯など、シニア世代でものんびりしてられない日々ですが、この日はさわやかな秋晴れ。暑い夏の影響で紅葉は進んでいませんが、どんぐりや銀杏、シバグリのイガなどを踏みながら、自然を満喫したと思います。多目的広場では飛び交うトンボやバッタをめがけて網を振っていました。でも、いざ捕まえてみると、網から虫かごに移すことができず、虫に強い友達に助けを求める姿がありました。こういう機会が増えて、虫の命と直接触れ合えるようになってほしいな、と思いました。

スタッフの皆さま、お疲れさまでした。